

月刊 まち・コミ 2011年3・4月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>



まち・コミ 活動報告と今年度の予定

昨年度も、みなさんには大変お世話になり、ありがとうございました。簡単ではありますが、活動の報告と、今年度の予定をお知らせいたします。今後とも、応援よろしくおねがいたします。



NHK「ラジオ深夜便」収録の様子。台日交流古民家移築事業でインタビューを受けました。

これまでの活動を振り返って

1996年のまち・コミュニケーション(以下まち・コミ)設立から14年。阪神・淡路大震災の現場やその後、縁のある地域の人々と共にまちづくりに取り組んでまいりました。活動する中で悩んだことは、まち・コミが寄り添いながら、地域で社会生活を営む人が、地域社会への当事者性を持ち、自分たちの力で、地域の未来のために取り組めるようにするにはどうしたら良いかということ。地域の人々が、自分自身の周囲の環境やまちに興味を持ち実際に行動できる環境をつくることを目的にまち・コミは活動してきました。

2011年度は・・・

2011年度は、引き続き活動を継続します。特に、これまで過程を振り返り、具体的に記録し、表現できるように記録を作成していきます。当団体の立ち位置を表現・共有し、これからの活動に生かしていきます。とともに、他のまちづくりへ生かせるように発信していきます。

これまでの活動、これからの活動の詳細については、団体ホームページでご報告していますので、ご参照ください。

- 4 / 5 ▲ 2010年度 活動報告
- 4 / 6 ▲ 震災体験学習 震災学習語り部打合せ
- 4 / 16 ▲ 校実施) まち・コミ運営委員会
- 4 / 22 ▲ 記録誌 編集委員会
- 4 / 27 ▲ 研修受入 神戸大学 塩崎研究室
- 4 / 30 ▲ 視察受入 東京都総務局 総合防災部職員
- 5 / 21 ▲ 震災体験学習 前半の部受け入れ開始 (8月5日まで17校実施)
- 5 / 21 ▲ 演、早稲田大学 浦野先生
- 5 / 25 ▲ 講演 東京学芸大学 附属高等学校にて神戸訪問事前講演
- 6 / 4 ▲ 研修受入 軽井沢民生委員
- 6 / 12 ▲ 講演 連合愛知ボランティアリーダーズスクール、田中
- 6 / 14 ▲ 記録誌 編集委員会
- 6 / 21 ▲ 講演 区民まちづくり会議 (長田区) 出席 (今年度8回出席)
- 6 / 22 ▲ 講演 神戸松蔭大学 特別講義 (官定)
- 6 / 26 ▲ まち・コミ運営委員会
- 7 / 13 ▲ 記録誌 編集委員会 (第3回)
- 7 / 23 ▲ 研修受入 広島大学 田中貴宏ゼミ
- 8 / 2 ▲ ▲ 視察受入 兵庫高校生徒による出石市民農園ヒアリング
- 8 / 25 ▲ 打合せ) ▲ 研修受入 明石高専 インターンシップ
- 8 / 27 ▲ 記録誌 編集委員会 (第4回)
- 9 / 7 ▲ ▲ 台日交流古民家移築事業 台日交流古民家完成体験
- 9 / 12 ▲ ▲ 外部視察 大里綜合管理株式会社 訪問
- 9 / 17 ▲ ▲ 研修受入 シアトルワシントン大学
- 9 / 22 ▲ ▲ 研修受入 和洋女子大学 家政学部生活環境学科 4年
- 9 / 27 ▲ ▲ 調査研究 御首西地区住宅再建調査
- 9 / 28 ▲ ▲ 受託事業 防災科学技術研究所被災者ヒアリング調査の
- 9 / 28 ▲ ▲ 校実施) ▲ 震災体験学習 後半の部受け入れ開始 (12月末まで5校実施)
- 9 / 28 ▲ ▲ 14 ▲ 記録誌 運営委員会 夏合宿
- 9 / 28 ▲ ▲ ▲ 外部視察 大里綜合管理株式会社 訪問
- 9 / 28 ▲ ▲ ▲ 研修受入 神戸市 新人研修受入
- 9 / 28 ▲ ▲ ▲ 台日交流古民家移築事業 斉藤賢次棟梁木造建築講演と講義 (台湾淡水)
- 9 / 28 ▲ ▲ ▲ 震災体験学習 後半の部受け入れ開始 (12月末まで5校実施)
- 10 / 3 ▲ ▲ ▲ 講演 講演とシンポジウム「震災への備えを考える」(足立区、田中)
- 10 / 15 ▲ ▲ ▲ 研修受入 日本災害復興学会 神戸大会 レクチャーと町歩き
- 10 / 17 ▲ ▲ ▲ 講演 講演とシンポジウム「震災への備えを考える」(足立区、田中)
- 10 / 25 ▲ ▲ ▲ 研修受入 雲雀丘中学校 トライやるウィーク受入
- 10 / 30 ▲ ▲ ▲ 震災体験学習 出石町市民農園再建事業 観音寺お参りと出石市民農園収穫祭参加



▲ 10年4月30日
記録誌編集委員会の様子



▲ 10年7月23日～27日
台日交流古民家移築事業 完成体験ツアー

◆ 10年4月～6月 ◆

＜記録誌＞09年度に引き続き記録誌編集委員会を開催し、まち・コミ記録誌づくりの元データになる年表の作成や振り返りを行いました。9月に予定した記録誌合宿に向けて必要な資料を収集しました。各プロジェクトについて、5W1Hの整理しました。

＜震災体験学習＞修学旅行などで神戸にやってくる小・中・高校生を対象に、語り部が震災体験を伝えるこの活動は10年目を迎えました。生徒からお礼の手紙をもらい、語り部からも返礼を出すなど、後日の交流もしています。

＜出石町市民農園再建事業＞2010年度もタマネギ、ジャガイモ、黒大豆の枝豆を栽培しました。作業のボランティア、購入での応援者に支えられています。

◆ 10年7月～9月 ◆

＜台日交流古民家移築事業＞福井県おおい町にあった古民家を台湾に移築。建物「一滴水記念館」の完成に合わせて日本からの見学交流ツアーを計画し、18人が参加しました。淡水鎮主催で歓迎式典には、100人以上が集い交流しました。

＜記録誌＞9月12・13日に、合宿形式での記録誌会議を行いました。まち・コミの運営委員や支援者にお越しいただき、時系列でこれまでの活動を振り返ったコメントと、記録誌作りのアドバイスをいただきました。また、まち・コミの今後の方向性や魅力や強みについても議論しました。

＜研修受入＞大学生の研修に加え、今年は神戸市の新人職員への震災研修を行いました。阪神・淡路大震災から17年が過ぎ、震災当時の記憶が無い世代が20歳前後になっています。

2011年度活動予定

1. 被災地まちづくり支援事業

1 - 1. 神戸市長田区御蔵通

まち・コミ記録誌作成と共に、振り返りの場を作っていきます。

1 - 2. 兵庫県豊岡市出石町鳥居

鳥居やすらぎ市民農園で畑を耕しながら、多くの方に感じていただき、出石市民農園の活性はもとより、都市と農村の交流に力を入れて参ります。(年間予定表 <http://bit.ly/mlYbd>)

1 - 3. 台湾

一滴水記念館(古民家)が2011年3月に開館しました。会館を通じた日台交流が活性化するように、展示の充実や神戸とアジアの歴史研究などに努めていきます。

1 - 4. 東日本大震災の被災地

調査・顔合わせ・瓦礫撤去等のため、4回訪れた宮城県亘理郡亘理町を中心に、今までの経験と人的繋がりを活かしながら、復興まちづくりに向けて、取り組んでいきます。(これまでの活動は「月刊まち・コミ 2011年5・6月号」参照)

2. 平常時まちづくり支援事業

該当地区なし。(いつでも平常時のまちづくりに貢献できるよう準備を致します。)

3. 地域間交流

活動の中で出合った他地域の人たちと積極的に交流していきます。今年度は特に、一滴水記念館のオープンをきっかけにますます交流が広がるよう、台湾ツアーの開催、台湾での越前竹人形の上演、台湾からの来訪者受け入れなどを予定しています。

4. まちづくり調査研究事業

4 - 1. 各地区の再建調査

被災地が再建する過程を調査します。 - 4 -

4 - 2. まち・コミ記録誌の作成

まち・コミの今後の活動に生かすため、これまでを振り返り、冊子にまとめます。

5. まちづくり研修事業

5 - 1. 修学旅行生の受け入れ

神戸に修学旅行に来る小・中・高校生を対象に、震災体験を伝えています。今年度は20校程度予定しています。

5 - 2. 御蔵学校(地域で学ぶ勉強会)

「東日本大震災」がテーマの勉強会を、秋以降に開催する予定です。

5 - 3. 各種団体受け入れ

震災、復興まちづくり、ボランティアなどをテーマに研修をいたします。

5 - 4. 外部講演

講演会やシンポジウムにて、講師やパネリストとして出演し、これまでの経験を元にお話しします。

6. 情報発信事業

6 - 1. 月刊まち・コミ

まち・コミの活動や調査の報告、その他まちづくりの情報をお伝えします。

6 - 2. Web まち・コミ

活動報告を中心にホームページやブログにて情報発信します。

6 - 3. メールニュース

2カ月に1回程度、Eメールにて情報をお届けします。

各活動のボランティア、事務局のインターンを募集しています。まち・コミュニケーションまでお気軽にお問い合わせください。

各活動についてのPRホームページを作成しました。「WEBまち・コミ」からリンクされています。是非併せてご覧下さい。

まち・コミ news



2010年度 収支報告 (2010年4月～2011年3月)

収入		支出	
(前年度繰越金)	¥1,117,030		
会費	¥934,000	事業費	¥3,903,532
寄付金	¥242,600	人件費	¥4,200,000
助成金	¥0	通信費	¥253,668
事業収入	¥8,763,273	交通費	¥454,578
雑収入	¥98,365	事務管理費	¥92,680
		家賃・水光熱費	¥1,125,197
		雑費	¥1,035
		(翌年度へ繰越)	¥1,124,578
合計	¥11,155,268		¥11,155,268

昨年度も応援してくださるみなさまのおかげで、活動することができました。
ありがとうございました。今年度もよろしくお願いいたします。

まち・コミュニケーション

大地のつぶやき

東日本大震災が大津波を伴って青森から岩手、宮城、福島、茨城、千葉に至る太平洋沿岸を襲った。宮城県の知人や友人に電話で安否を問うが繋がらない。やっとかかったのは三月十六日だった。仙台市青葉区の玄光庵伊串泰純和尚だった。玄光庵は無事だったが水と電気ガスのライフラインが止まったそう、亘理郡亘理町の高音寺住職・岡崎正利和尚、同じく亘理郡山元町の徳本寺住職・早坂文明和尚とは連絡は取れていないと言う。まち・コミ代表の宮定君はじっとしておれず、三月二十日から三月二十二日の間、仙台市、名取市、亘理町、山元町に入った。それというのも伊串和尚や岡崎和尚は九十六年の夏まつりに於いて古川町の七夕飾りを沢山持って来てもらい、その上飾り付けに大勢の助っ人を加勢に来ていただき、お陰で三日間に及ぶ盛大なお祭りが出来たのである。そして私の学生時代のボートの仲間・水渡英昭兄を太白区に訪ねてもらった。全員無事が判明し、御蔵で集まった義援金や緊急物資を山元町役場に手渡すことが出来ました。

伊串和尚は毎年欠かさず慰霊祭に参加していた。そんな訳ではが非でもの気持ちが強かったのである。亘理の岡崎和尚の所は仙台東部道路より内陸に入っていたので無事だった。花まつりで歌手を呼んでもらった山元町・早坂和尚の本務寺である徳本寺は無事だったが兼務寺の徳泉寺は墓地も含め跡形もなく流されたと手紙に記されていた。四月一日から四月三日、四月十一日から四月十六日、五月二日から五月六日、三度山元町、亘理町に入り、この仙台平野の穀倉地帯には何処を見ても避難するところは見あたらない。道ばたに倒れた看板から避難所〇〇小学校↓5100mと書かれてある。時速二十キロを超す津波に五キロは遠すぎる。この平野の中にはいくつものシェルターが要る。我々が手伝った海岸から五〇〇m余りの海蔵禅寺は地上高三m近くに迄水跡がある。墓石の九十五%はなぎ倒されている。二トンダンブも墓地に流れ込んで逆立ちしている。建物の基礎ばかりが目につく浜へと続く道路沿い。人っ子一人として歩いていない。

株式会社兵庫商会 田中保三

まち・コミ活動報告

2/1 ~ 3/31

2/8 京都大学国際交流科目「復興」から学ぶ21世紀の防災と環境」アメリカ前の研修
 2/8 鳳土木事務所研修打合せ
 2/9 長田区役所いきいき部会出席
 2/9 麒麟の会(第2回)
 2/19 品川区密集事業地区での講演(田中)
 2/20 ボランティアコーディネー

ションカ3級検定試験
 2/26 月刊まち・コミ印刷
 2/27 鳳土木事務所研修
 2/28 JTB多治見支店下見
 2/28 月刊まち・コミ発送作業
 3/1 麒麟の会(第三回)
 3/4~11 四川復興調査(宮定)
 3/5 いたばし総合ボランティアセンター主催の講演「地域と災害ボランティアで友に学ぶ 阪神・

淡路大震災の教訓 まちの力 人の力」(田中)
 3/9 滋賀県社会福祉協議会研修
 3/12 出石市民農園
 3/13 災害ボランティアコーディネーターなごや研修
 3/16 長田区民まちづくり会議総会出席
 3/26~30 訪台(平和記念公園完成式・竹人形劇場探し)

ご支援、ありがとうございます。

1/24 ~ 3/9

賛助会員(新規・継続)

成田千尋(兵庫県) 弘本由香里(大阪府) とちぎボランティアネットワーク(栃木県) 荒木正昭(熊本県)
 高森香都子(兵庫県) 出口俊一(兵庫県) 芦田英機(大阪府) 齊田哲平(東京都) 鎌田啓通(徳島県)
 小林由佳(神奈川県) 河野睦宏(岐阜県) Nishiumi Yuji(兵庫県) ODA MASAKO(兵庫県)
 Kimura Keisuke(兵庫県) 櫻井朝教(長野県) 森敏昭(兵庫県) 佐藤友一(京都府)
 株式会社防災&情報研究所(東京都) 勝川喜昭(奈良県) 上田耕蔵(兵庫県) 山下憲子(兵庫県)
 辻晴久(兵庫県) 鈴木有(滋賀県) 寺田孝(兵庫県) 池田浩敬(静岡県) 播本高志(兵庫県)

寄付

協力 社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいております。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は、「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。

まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 東日本大震災後、まち・コミに多くのお電話をいただきました。改めてまち・コミのネットワークを感じました。(戸)

年会費

個人・法人 年間5000円
 学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2011年5月1日発行

編集/発行 まち・コミュニケーション

定価 100円

御蔵事務所 〒653-0014

神戸市長田区御蔵通5-5

TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

東京事務所 〒162-0052

東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部浦野研究室内

神奈川事務所 〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1

専修大学文学部大矢根研究室内

e-mail m-comi@bj.wakwak.com

URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/